

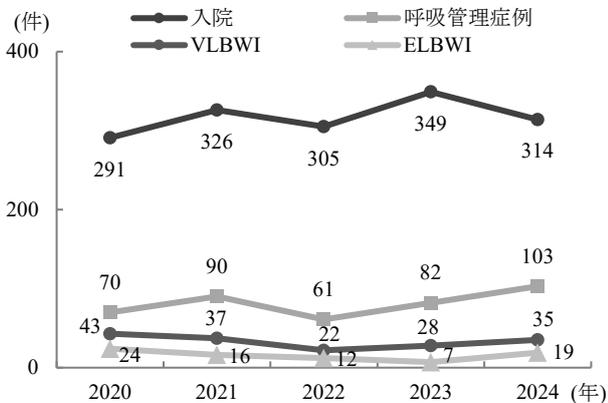
新生児内科 Neonatal Medicine

1. スタッフ構成(2025年3月時点)

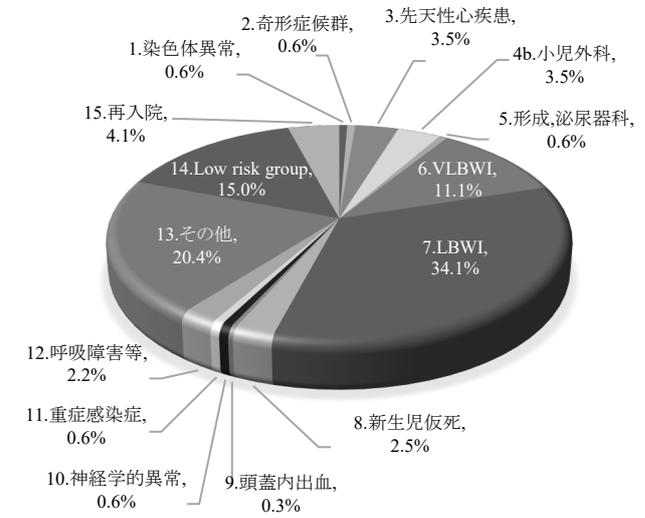
- 穂吉 眞之介(主任部長、総合周産期母子医療センター副センター長、臨床心理室長)
1995年大分大学医学部卒
専門分野: 新生児集中治療、小児集中治療
資格: 日本小児科学会小児科専門医、日本周産期・新生児医学会周産期専門医(新生児)・周産期専門医(新生児)指導医
- 井上 博晴(部長)
2005年佐賀大学医学部卒
専門分野: 新生児集中治療
資格: 日本小児科学会小児科専門医、日本周産期・新生児医学会周産期専門医(新生児)、厚生労働省臨床研修指導医
- 山内 俊史(部長)
2008年岡山大学医学部卒
専門分野: 新生児集中治療
資格: 日本小児科学会小児科専門医、日本周産期・新生児医学会周産期専門医(新生児)、厚生労働省臨床研修指導医
- 依岡 壮一郎(医長)
2014年愛媛大学医学部卒
専門分野: 新生児集中治療
資格: 日本小児科学会小児科専門医、日本周産期・新生児医学会周産期専門医(新生児)
- 丸山 なつき(医長)
2015年岡山大学医学部卒
専門分野: 新生児集中治療
資格: 日本小児科学会小児科専門医
- 浮田 葉(専攻医)
2022年愛媛大学医学部卒
専門分野: 新生児集中治療
- 穂吉 紀子(診療委託)
- 鳥山 みひろ(診療委託)

2. 実績

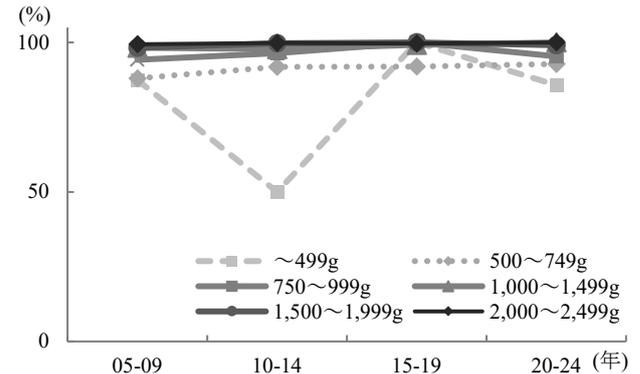
■ 入院数・呼吸管理症例数・極低出生体重児数の推移



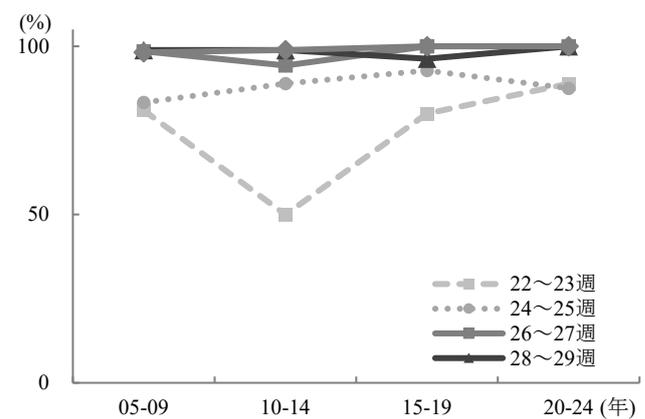
■ 入院児の 카테고리分類: 314 例



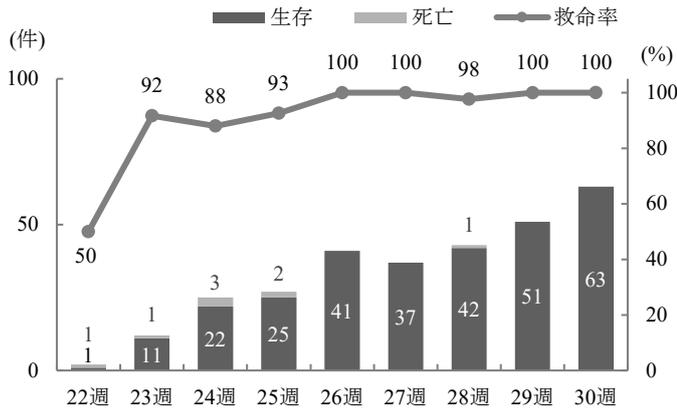
■ 低出生体重児の体重別救命率(先天異常含む)5年ごとの予後



■ 早産児の在胎週数別救命率(先天異常含む)5年ごとの予後



■ 超早産児の在胎週数別症例数と22～30週の生命予後
(過去10年)



■ 診療実績

疾患名等	件数
入院総数	314
院内出生	275
院外出生	39
死亡症例	2
超低出生体重児:ELBWI	19
極低出生体重児:ELBWIも含む	35
低出生体重児:VLBWIも含む	151
先天性心疾患	11
新生児仮死	8
染色体異常	2
奇形症候群	2
小児外科・脳外科疾患	11
形成外科・泌尿器疾患	2
手術症例	11
呼吸管理症例	103
新生児搬送数:あいあい号出動回数	41
COVID-19 関連	3

3. 2025年度目標

総合周産期母子医療センターとしての機能を果たすべく、各地域周産期母子医療センター、小児科と連携して常に受け入れ体制が取れるように準備していきたいと考えています。

4. 学術関係

(1) 学会発表および講演

- 井上博晴、穂吉眞之介. 10年後の四国の新生児医療について考える. 第41回四国新生児医療研究会. 徳島 (2024.5.25)
- 丸山なつき、徳本大起、木内拓海、依岡壮一郎、山内俊史、井上博晴、穂吉眞之介. 出生時に両側大腿骨幹部骨折を認めた先天性多発性関節拘縮症の一例. 第27回愛媛周産期医療研究会. 松山 (2024.6.15)
- 丸山なつき、依岡壮一郎、山内俊史、井上博晴、穂吉眞之介. 乳児期早期気管切開術を要した先天性多発性関節拘縮症の一例. 第68回日本新生児成育医学会・学術集会. 長野 (2024.11.8-10)